

放課後子ども教室だよ

ごひゃくがわ遊友クラブ訪問

令和2年12月9日(水)訪問

○開設年度	平成20年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市立五百川小学校		登録児童数：23名
○実施回数	21回	○登録スタッフ	16名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 水曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 おはなし会 キンボール 季節行事等

夢中になって遊んだよ

ごひゃくがわ遊友クラブは、五百川小学校の多目的室や体育館を使用して活動しています。

訪問当日は、体育館で「みんなで遊ぼう」という活動を行っていました。体育館で活動するのは、この日が今年度4回目だそうです。この日は学校が短縮時程で、通常より時間活動が1時間長いので、体育館でめいっぱい遊ぶことができました。前半の1時間は、ドッジボールやおにごっこなど、自分の好きな遊びをしながら自由に過ごし、後半は4つのチームに分かれて新聞紙を使った4種類のゲームを行いました。

子どもたちは、それぞれのゲームに夢中になって取り組んでいました。1つのゲームが終わると「もう一回やりたい!」と子どもたちから声が挙がります。コーディネーターの蛭原さんは、子どもたちの声をよく聞き、受け止めながらゲームを進めていました。子どもたちが同じチームの友達を一生懸命に応援したり、協力してゲームに取り組んだりする姿が印象的でした。

ゲームを行う際のコーディネーターとスタッフの役割分担について、事前に打ち合わせがなされており、児童への指示や誘導がスムーズに行われていました。また、子どもたちがドッジボールやおにごっこなどをする際には、スタッフが子どもたちのサポートや見守りを主体的に行っていました。子どもたちがコーディネーターやスタッフに対して、信頼感と安心感をもって関わっている様子が感じられました。



子どもたちの実態に合った活動を行います

本宮市では、「人権のおはなし」「本宮かるた」など、独自のプログラムを取り入れています。年に数回各遊友クラブのコーディネーターの会議があり、その中で情報交換やプログラムの内容について検討を行っているそうです。

ごひゃくがわ遊友クラブの基本的なプログラム内容は、他のクラブと同じですが、コーディネーターが五百川小学校の子どもたちの実態に合わせてプログラム内容の変更や修正をしています。

コロナ禍における活動のヒント

ごひゃくがわ遊友クラブでは、新型コロナウイルス感染症予防策として、児童の検温、手指消毒、会場の換気、活動終了後の消毒作業を行っています。

スタッフが、ペーパータオルを使ってドアノブと使った道具を消毒し、会場を清掃します。コーディネーターのお話では、「使った後は自分たちできれいにすることを教えるために、活動後に子どもたちといっしょに清掃をしたところですが、16時にお迎えが来るので、スタッフだけで清掃をしています。」ということでした。

訪問当日の遊びの中には、チーム対抗で使った新聞紙を片付ける速さを競うゲームが含まれていました。子どもたちが活動後の清掃ができない分、遊びを通して、プログラムの中で片付ける習慣を身につけることができるように配慮されています。

